

ダンス嫌いをなくす研究～ダンスを嫌いになる時期と理由～

吉田 真央 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 森川 みえこ

キーワード：ダンス好き・嫌い 学習指導要領改訂 ダンス必修化

1. 緒言

平成 20 年度学習指導要領の改訂により、平成 24 年度から中学第 1・2 学年において男女ともにダンス・武道が必修化される。

ダンスは個人や集団で踊り、互いに表現し、交流することが楽しい運動とされている。

ダンスの運動そのものは好きだが、ダンスは嫌いという者もいる。ダンスが嫌い・苦手とする生徒の背景には、自己を表現する能力、センスの乏しさ、羞恥心があると思われる。

本研究では、ダンスを嫌いになる時期とその理由について調査し、ダンス嫌いをなくすための一資料とすることを目的とする。

2. 研究方法

対象：B 大学男子 36 名 女子 24 名 計 60 名

内容：学校体育で行われる「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」を初めて行った時期と好き嫌いの理由等の質問紙アンケート調査

時期：11 月上旬 授業時に配布し、回収

3. 結果・考察

「創作ダンス」を好きな者 31 名、嫌い 27 名であり、初めて行った時期別では、小学 6 名、中学 15 名、高校 8 名、大学 24 名であった。好きな理由に「みんなで踊ること 40%」「楽しい 32%」嫌いな理由に「表現すること 23%」「創ること 18%」があげられた。

「フォークダンス」を好きな者 31 名、嫌い 20 名であり、初めて行った時期別では、小学 11 名、中学 8 名、高校 9 名、大学 7 名であった。好きな理由に「みんなで踊ること 27%」「楽しい 22%」嫌いな理由に「楽しくない 10%」があげられた。

「現代的なリズムのダンス」を好きな者 52 名、嫌い 7 名であり、初めて行った時期別では、小学 11 名、中学 3 名、高校 14 名、大学 16 名であった。好きな理由に「楽しい 40%」「カッコいい 32%」「リズムにのれる 32%」、嫌いな理由はほとんど挙げられなかった。

創作ダンス・フォークダンス・現代的なリズムのダンスのそれぞれの好きな理由に「みんなで踊ること」「踊ることが楽しい」という共通した好きな理由があげられていた。

嫌いな理由では、「創作ダンス」は表現することや創ることが難しい、恥ずかしいになってしまうと考えられる。「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」には音楽にあわせ、みんなで踊るので好きという者が多いと考えられる。嫌いな理由があげられたのは創作ダンスのみであった。

小、中学生でダンスを経験した学生は全てのダンスが好きと考えられた。大学生になるまでダンスの経験がないという学生はダンスを嫌いとする傾向がみられ、特に創作ダンスにおいては顕著であった。しかし、創作ダンスを嫌いとする者は他のダンスも嫌いとする傾向がみられるが、現代的なリズムのダンスを嫌いとする者がほとんどいないことがわかった。

4. まとめ

今回、3つのダンスを比較すると創作ダンスには自分を表現することや動きを創らなければならないことから、嫌いとなる学生が多くみられる。背景として大学生になると羞恥心が幼少時よりも高まると考えられ、幼児や小学生の早い時期より創作ダンスに取り組むことが、ダンス嫌いをなくすと考えられる。

5. 参考文献

文部科学省 中学校学習指導要領